



人ある限り人権を

やまびこ人権文化センターだより

2025

12

発行 やまびこ人権文化センター 倉吉市中河原 772-6 TEL/FAX 0858-28-4265

おでかけサロン 県立美術館と落語の芸術鑑賞ツアーに行ってきました！

11月20日(木)、やまびこサロンやデイに参加する13名がおでかけしました。県立美術館でコレクションギャラリーや企画展の花鳥画作品などを見学した後、上灘コミュニティセンターで昼食をとり、午後からは、「ペンギん家 吾楽」さんの落語を聞き、楽しい時間を過ごしました。

参加者からは、「また落語を聴きたいわ」という声も聞かれ、おでかけサロンを通して、普段と違った人との交流や、外へ出るきっかけづくりに繋がりました。



12月合同サロン「健康教室&クリスマスケーキ作り」

鳥取ヤクルト販売の椿ひろみさんに「健康寿命を延ばそう」をテーマにご指導をいただきます。その後、クリスマスケーキを作ってクリスマス気分を味わいましょう♪

日 12月11日(木) 10:00~12:00
所 やまびこ人権文化センター(1F 和室)
料 500円程度(ケーキ材料代実費)



【申込み期限】

12月5日(金) ※要事前申込

やまびこ人権文化センターまで

28-4265



12月「やまびこデイ」のお知らせ

西鴨 4日(木)、天神野 18日(木)、中河原 25日(木)

いずれも10時から各自治公民館・集会所にて開催します。

♪相談・雑談、お気軽にお立ち寄りください♪

1月やまびこサロン

映画「橋のない川」上映会



日 1月8日(木) 西鴨、15日(木) 天神野、
22日(木) 中河原
所 各自治公民館・集会所 **時** 午前10時より
映 「橋のない川」(1992年公開作品 139分)

明治時代から大正時代の人間の尊厳を掲げて敢然と差別に抗して立ち上がっていく人々の姿を描いた、住井すゑのベストセラー小説。映画は、東陽一監督が原作をもとに、真の人間の豊かさとは何かを問いながら、全国水平社結成に至るまでの人々の闘いを描いた作品です。

西中学校地区学習会

10月は「ユニット折紙」を作りました。同じ形をいくつも折り、繋げ合わせて完成させました。11月は、昨年度卒業し、現在高校1年生の2人の先輩から話を聞きました。

小鴨小学校地区学習会

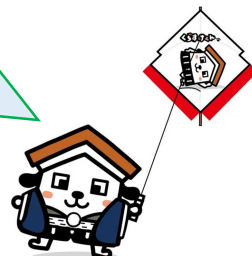
11月27日の調査活動発表会に向けて、発表原稿やスライドの準備を行いました。(発表会の様子は次号掲載予定)

◆年末年始の閉館日について◆

12月27日(土)から年末年始のお休みをいただきます。

年始の開館は1月5日(月)からです。

来年も引き続きよろしくお願いします。



12月4日～10日は「人権週間」

人権問題を「誰か」のことじゃなく。自分のこととして..

「人権週間」とは

1948（昭和23）年12月10日の国連総会において「世界人権宣言」が採択され、採択日である12月10日は「人権デー」と定められています。

日本では翌年から毎年12月10日を最終日とする一週間（12月4日から10日）を「人権週間」と定め、人権意識の向上のためのさまざまな啓発活動が取り組まれています。

一人ひとりがお互いを尊重し、差別のない明るく幸せな社会をみんなで作っていきましょう。



法務省HPより

人権ってなに？

人権とは、「人が人として、社会の中で、自由に考え、自由に行動し、幸福に暮らせる権利」です。すべての人が生まれながらに持っている権利です。私たちは、毎日の生活の中で人権を意識することは少なく、いわば「空気のように当たり前のもの」と思っています。

人権は、「当たり前」のもの？

日本国憲法は、あらゆる観点から私たち一人ひとり人権を保障していますが、誰もが「当たり前」、「守られるに決まっている」と思っている人権は、人権が保障されていないために苦しんできた人々の願いと努力の成果なのです。

人権問題は差別の問題

人権の侵害があっても「見て見ぬふり」をした経験はありませんか？「この人権問題の当事者はいないから差別することはない。学習しなくてよい」という意識はありませんか？

差別は特定の個人や集団を排除するなど不当に扱う行為で、平等権や自由権、生存権、教育を受ける権利の侵害などの基本的人権を侵害することと直接結びついています。

しかし、人権問題について知らないと、差別があっても気づけなかったり、相手・当事者を傷つける言動がどうかかわらないことがあります。



人権週間キャッチコピー “「誰か」のこと じゃない ”

社会には、様々な人権課題が存在していますが、これらは決して、自分以外の「誰かのこと」、「自分には関係のないこと」ではありません。この機会に、自分自身のこととして考えてみませんか。

困りごとや人権侵害ひとりで悩まないで 人権文化センターは身近な相談窓口です

人権文化センターはこどもから高齢者までのさまざまな人権問題や生活の困りごとについての相談に答えています。市の窓口や関係機関の紹介など対応していますので、気軽にご相談ください。差別落書き・差別発言などに遭遇されましたら、倉吉市人権政策課(☎22-8130)または、やまびこ人権文化センター(☎28-4265)にご連絡ください。

